

# VSE標準導入体験ワークショップ

—— VSE標準の説明：VSE標準の背景 ——

JISA VSE(基本開発プロセス)研究会

## VSE標準導入体験ワークショップ

本日の説明順序

VSE標準の説明

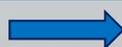
VSE標準の背景



「手引き」に沿って  
の説明



VSE標準ワークショップ（進め方／シナリオ）



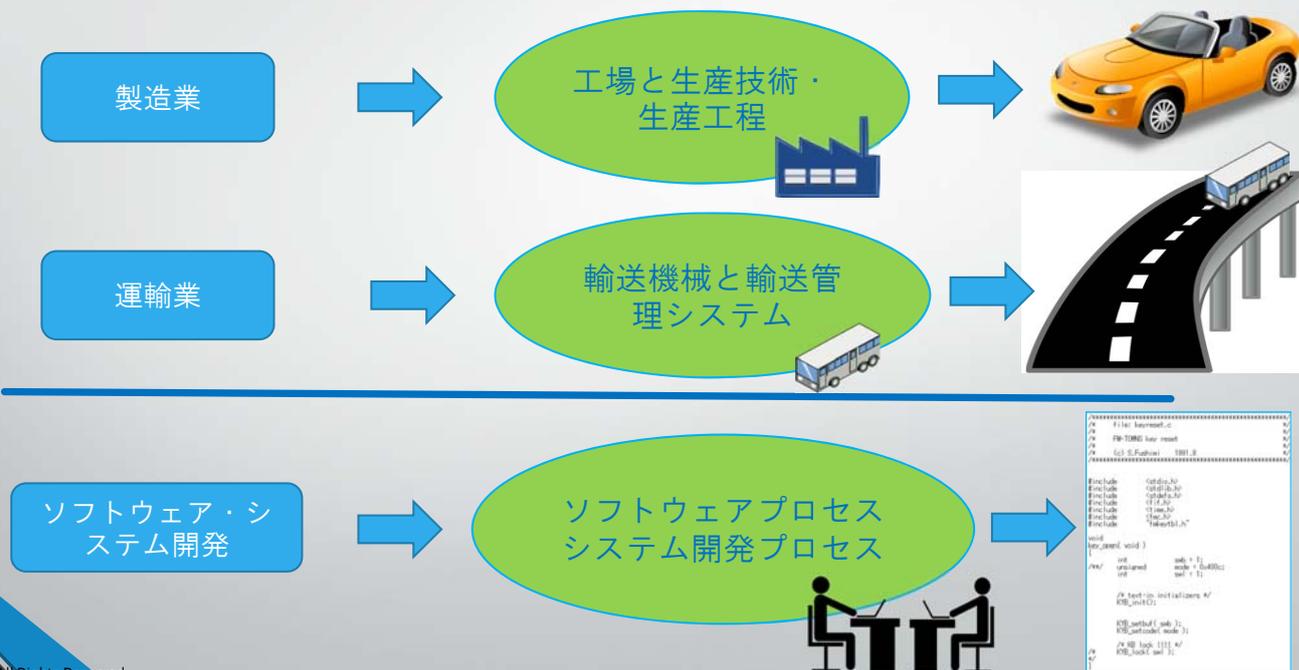
実際の参加型ワーク  
ショップの実施

# VSE標準の背景(目次)

- 「仕事をプロセスとしてとらえなおす」
- プロセス国際規格
- VSE標準の背景

「仕事をプロセスとしてとらえなおす」

# 「仕事をプロセスとしてとらえなおす」



# 「仕事をプロセスとしてとらえなおす」(続き)



# 「仕事をプロセスとしてとらえなおす」(続き)

ソフトウェア・エンジニアリングを用いた確実・先端的な開発

「開発」を工学する

組織と開発チームへの技術の蓄積

同じ間違いを繰り返さない、仕事内容を良くしていく

「見える化」と組織的な取り組み

仕事の方法への意欲的・意識的な取り組み

経営陣が「現場だけの責任（給与のみのコントロール）」にしない

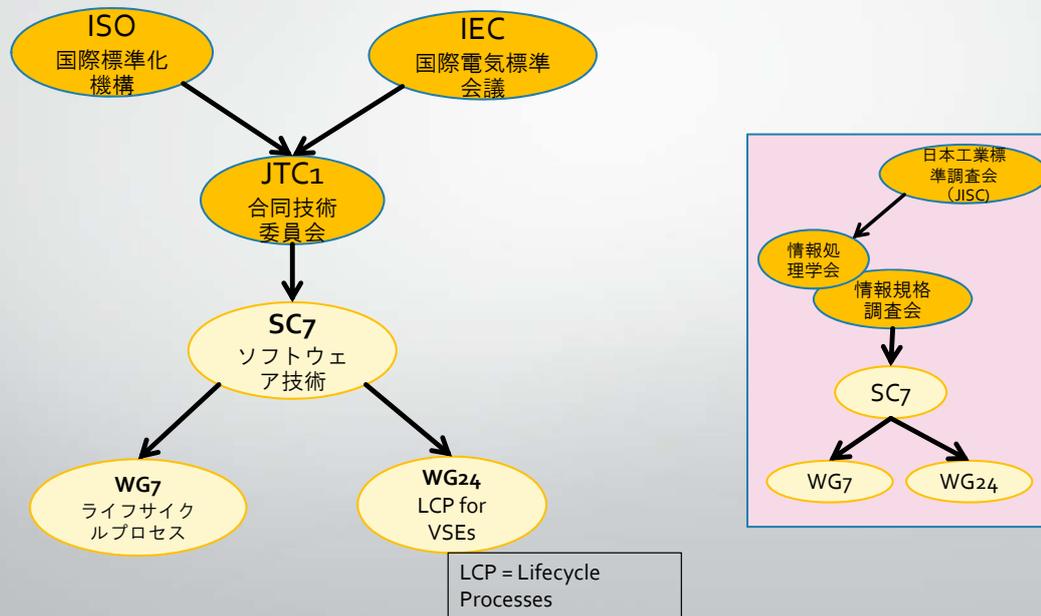
製品とサービスにおける安心・安全の提供

プロジェクトが何とか終わればよいと言わない

## プロセス国際規格

## プロセス国際規格:

# ソフトウェアエンジニアリング規格はJTC1 SC7が制定



Copyright (C) 2016 JISA All Rights Reserved.

## プロセス国際規格:

# VSE標準はJTC1 SC7/WG24が制定

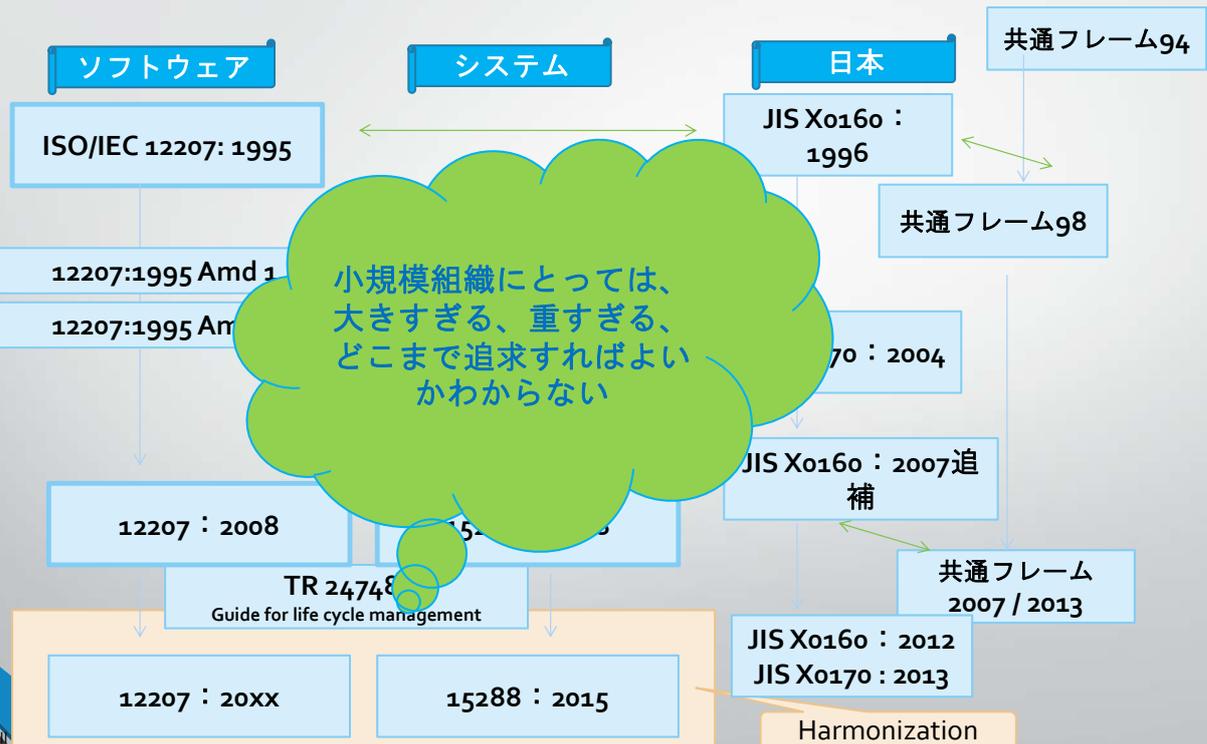


(参考) WG24東京会議 (2015年) の記念写真

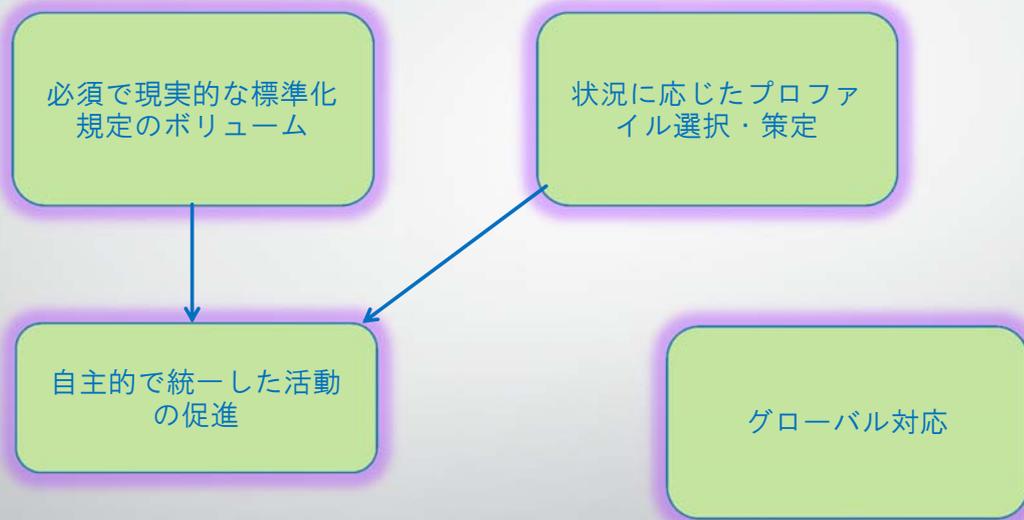
Copyright (C) 2016 JISA All Rights Reserved.

# VSE標準の概要

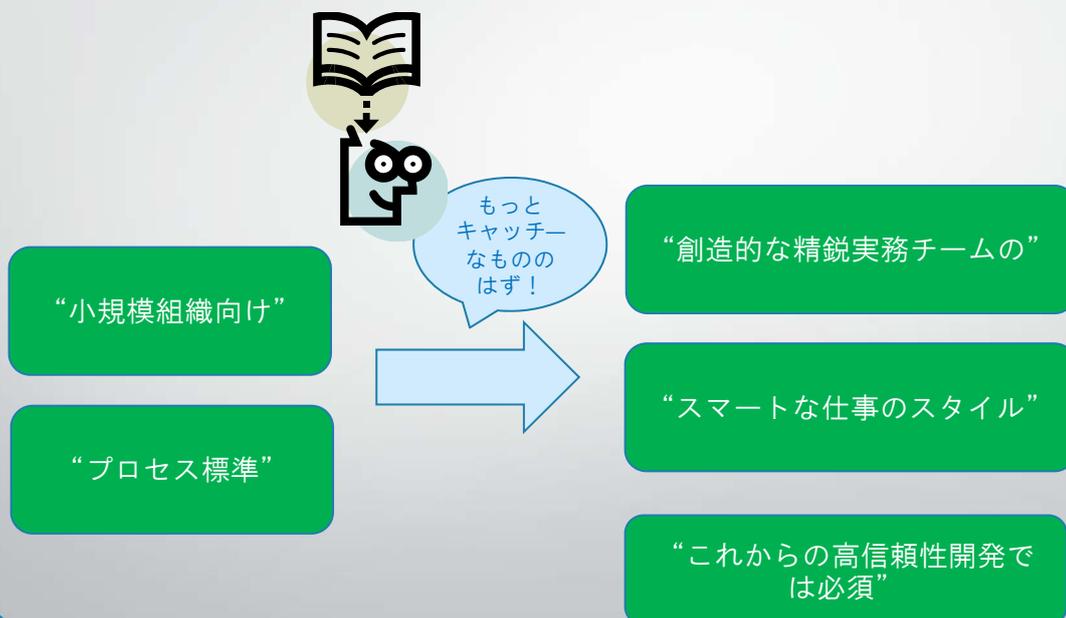
## VSE標準の概要： VSE標準の位置づけ



## VSE標準の背景： 特色



## VSE標準の概要： 位置づけを広めに解釈して



# VSE標準の概要：正式には

- ISO/IEC 29110規格シリーズ

- Software Engineering — Lifecycle Profiles for Very Small Entities (VSEs)

—— 小規模組織のソフトウェアライフサイクルプロファイル

## < 制定動機 >

1. 国際的にみて、ソフトウェア開発のかなりの部分が多数の中小零細企業によって担われている
2. 中小零細ソフトウェア企業にとって、既存のソフトウェアエンジニアリング規格総体へのアクセスおよび社内採用は高負荷であるが、他方、一定の水准确保はやはり必要である
3. 小規模企業のソフトウェアプロセスの現実的な必要事項を明確化する  
小規模開発組織の信頼性の確保  
(国際的な) 分業の中で果たすべき役割等の視点

# VSE標準の概要：「小規模開発組織」とは？

- ISO/IEC 29110規格では、形式上、

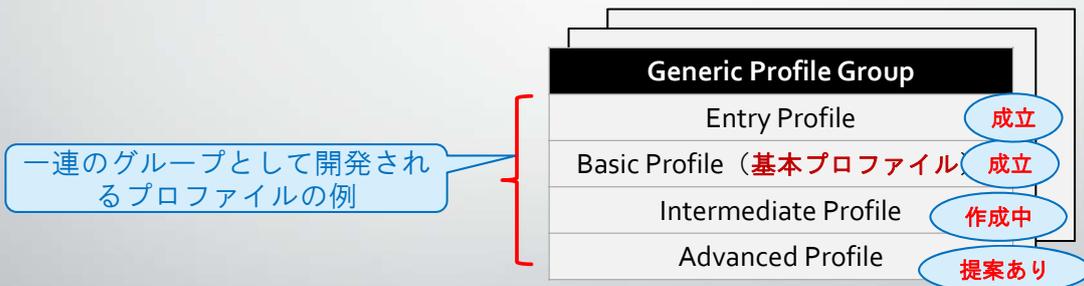
「25名以下のソフトウェア(システム)開発組織」を対象にする

としているが、この数字には実はあまり意味がない

- 企業規模、開発組織規模、プロジェクト規模のいずれに見立ててもよい
- いわゆる、大企業的な、間接部門・支援部門を持ちえない状況を想定して(規格では、とりあえず、リソースが潤沢でないと表現している)

## VSE標準の概要：規格の構成の特色

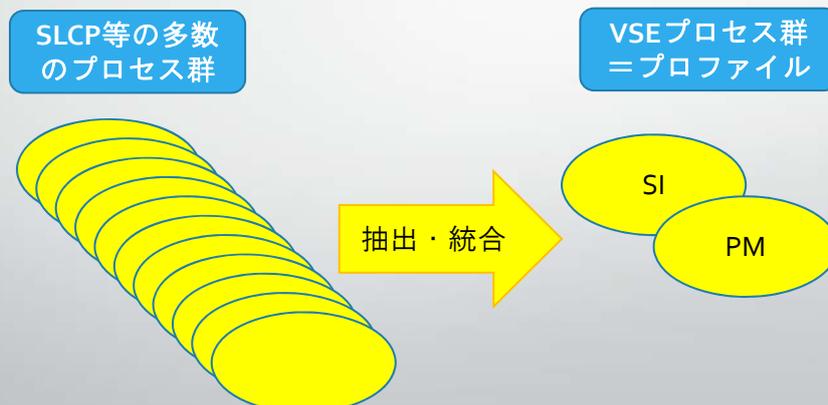
- 小規模企業のさまざまな規模、特性を表現するために「**プロファイル**」という特性区分を設け、それぞれのプロファイルごとに必要事項を整理する



ソフトウェア開発向けのほか、システム開発向けもある

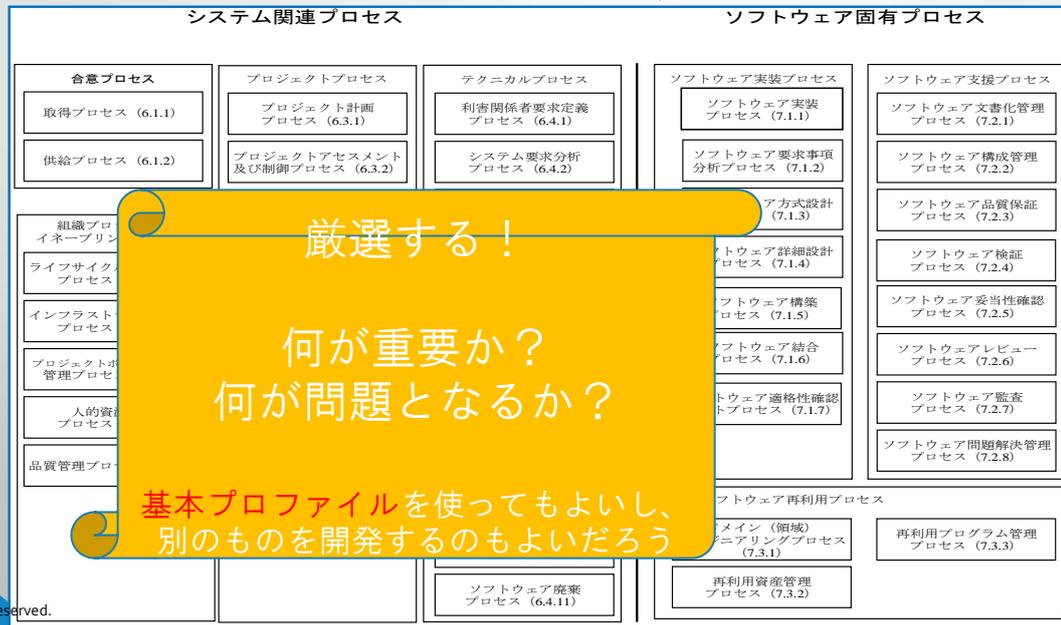
## VSE標準の概要：具体的な作成方法(プロファイルの作成)

- 本ワークショップで扱う「**基本プロファイル**」では、とりあえず、既存規格(SLCPが中心)から、VSEにとって必要と判断した事項を抜き出す。またはいくつかの要素を統合する。

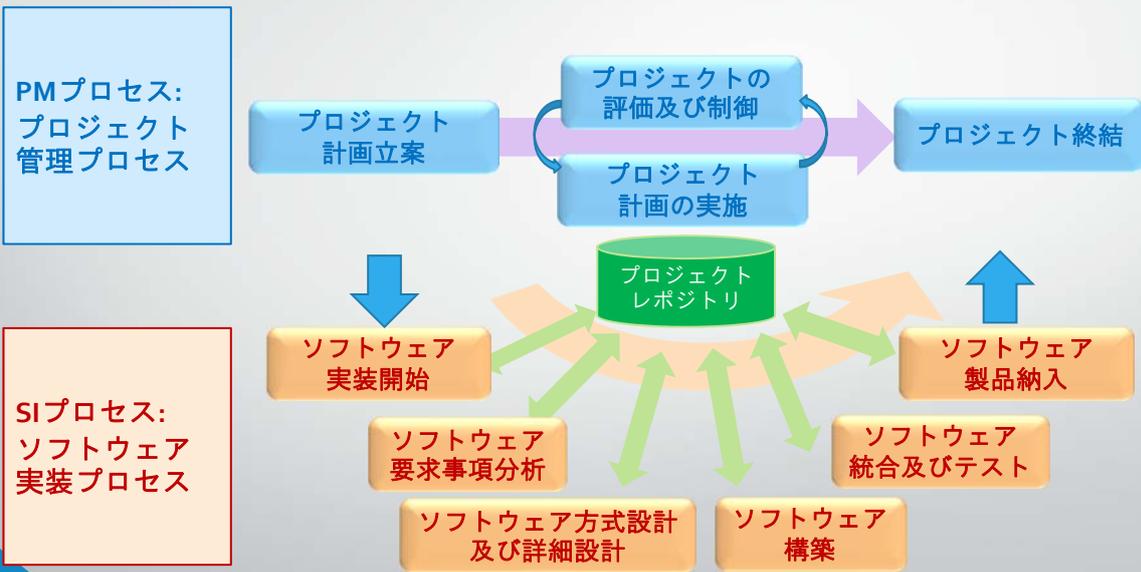


# VSE標準の概要：元規格(基礎規格)との関係

JIS X0160 : 2012 (SLCP)



## VSE標準の概要：「基本プロファイル」を構成する2つのプロセス —— 本ワークショップでは、「基本プロファイル」だけを扱う



## (参考): VSE規格の全体構造

29110のPart (部)	部の(サブ) タイトル	主な読者
Part 1 (TR)	Overview	誰でもに
Part 2 (IS)	Framework and Taxonomy	標準化関係者
Part 3 (TR)	Assessment Guide	アセッサーとVSE
Part 4-n (IS) 4-1は"Generic Profile Group"	Specification - Basic Profile -> VSE Generic Profile Group (改訂中)	標準化関係者
Part 5-n-m (TR) 5-1-2は"Basic Profile"	Management and Engineering Guide - Basic Profile	VSEとアセッサー

TR: Technical Report  
IS: International Standard

## VSE標準の概要: 日本では: JIS X 0165

- JISC(日本工業標準調査会:経済産業省の下)で審議制定
  - JIS X 0165「小規模組織のソフトウェアライフサイクルプロファイルー第2部:枠組み及び分類指針」(2013年)
- 制定時の観点
  - 国内の中小零細ソフト企業のソフトウェアプロセスに関する基準として活用できる
  - 高度化する経済国際化、分業体制の中で国際的に認知された基準を日本の公的規格として適用できる
  - ソフトウェアエンジニアリング規格全体の、理解しやすく、現場に受け入れやすい入り口として活用できる

## (参考) 規格本体の入手方法

- ISO shopから
  - <http://www.iso.org/> のサイトで、規格番号(29110)で検索をかけて、購入
  - Part 1, Part 3, Part 5-1-1, Part 5-1-2は英語版、フランス語版(、スペイン語版)が現在無料で入手可能  
<http://standards.iso.org/ittf/PubliclyAvailableStandards/index.html>
- 日本規格協会から英語版購入
  - <http://www.webstore.jisa.or.jp/webstore/top/index.jsp>
- JIS規格(現状、第2部(Part 2)のみ)
  - JISCホームページで閲覧(のみ可能)
    - <http://www.jisc.go.jp/app/JPS/JPSO0010.html>
  - 日本規格協会から購入